

第 10 回議会改革推進協議会 協議概要

- 1 日 時 平成 26 年 3 月 19 日（水）午後 4 時から午後 5 時 10 分まで
- 2 会 場 議会棟 3 階 第 1 委員会室
- 3 出席者 （委 員）宇留間委員長、福谷副委員長、
秋葉委員、阿部議員、小川委員、川岸委員、川村委員、
近藤委員、佐々木（久）委員、佐々木（友）議員、
白鳥委員、段木委員、福永委員、山田委員、米持委員
（※下線は代理出席）
（事務局）大木事務局長 他 10 人
- 4 傍聴者 （一般傍聴者）3 人
（記 者）1 人

5 協議事項及び協議結果

（1）第 9 回の協議概要について

資料を配付し、了承を得た。

（2）5 分科会審査の検証について

第 1 回定例会が終了し、予算・決算審査を 5 分科会審査により実施したことを踏まえ、各会派の意見を聴取した結果、

① 財政局の特出し（単独審査）について

- ・引き続き実施するとの意見
- ・実施しないとの意見

② 一括質問・一問一答とも答弁を含み 45 分を目安とする発言時間等について

- ・制限を設けないとの意見
- ・30 分が望ましいとの意見

などが述べられ、アンケートにより全議員の意向を確認したうえで、5 分科会審査の検証を行うこととなった。

（3）議員定数について

白鳥委員よりこれまでの幹事長会議での協議経過が報告された後、意見を聴取した。委員より、「削減の提案をする理由」を説明するよう要望があり、該当する各会派の委員から説明がなされた。

（定数を削減する主な理由）

- ・厳しい財政状況の中、議員も身を削り、議会費に占める人件費の割合を減らす。

- ・定数削減により、恒久的に市の財政へ貢献できる。
- ・議員 1 人当たり人口は 20,000 人程度が妥当。
- ・市は将来の人口減少、財政状況を見据えスリムな組織体制にする必要があるため、議会も率先するべき。
- ・議会の行政改革として、議員定数削減に取り組むべき。
- ・政令指定都市の状況を比較すると、議員 1 人当たり人口をもっと増やしてよい。

なお、幹事長会議で一定の結論を得た段階で協議会に報告し、協議会において最終的な結論を出すことが確認された。

(4) 次回の開催日程について

第 11 回協議会は、平成 26 年 4 月 28 日（月）午前 10 時から開催することとなった。

6 その他

3 月 12 日に実施した災害対応訓練について、委員より「訓練で課題となったことの対応策は、いつ、どこで情報共有するのか。」との発言があり、正副委員長が反省点等を検証し、後日、委員長から報告することとなった。

また、「議場の議員席に防災用ヘルメットを下げるためのフックをつけてほしい。」との意見が出され、正副委員長で検討することとなった。